

救急科・高度救命救急センター

Acute Medicine
Advanced Emergency Medical Care Center



救急科
高度救命救急センター

診療概要

病気やケガは、それが軽症でも重症であっても、患者さんにとっては大きな苦痛と不安を与えることになります。そんな救急疾患を抱えた患者さんが安心して受診できるよう、救急科だけでなく全科を挙げて24時間365日休むことなく充実した救急医療体制を構築しています。

岡山県の高度救命救急センターとして県下のすべての重症患者に高度な医療を提供できるよう10床のICUを有しています。また、ドクターヘリも運用していますので、消防機関からの要請で岡山県および隣接県へ医師と看護師がすぐにヘリコプターで飛んで行き、その場で治療を開始し迅速な救急搬送を行っています。

特徴・特色

● 初期・二次・三次救急医療施設とは？

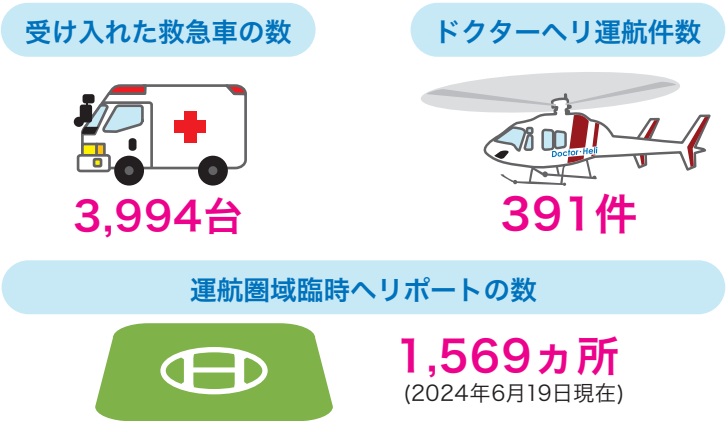
救急患者を受け入れる施設は、軽症患者に対する医療を行う**初期救急医療施設**、中等症患者に対する医療を行う**二次救急医療施設**、初期、二次救急医療施設では対応が難しい重症患者に対する医療を行う**三次救急医療施設**に分類することができます。大学病院に併設された救命救急センターは重症患者だけを専門に診療する三次救急医療施設であることがほとんどです。しかし、当院高度救急センターは、自分で歩いて来院される軽症患者（初期）から救急搬送されてくる重症患者（三次）までの診療を一手に引き受ける、日本でも画期的な施設です。このことはただ単に救急医を育成するという意味だけでなく「全身を診察できる良き医師を育成する」という意味においても社会に貢献していると自負しています。

救急の専門医が搭乗したドクターヘリの運航によりさらに診療圏を広げ、岡山県のみでなく近隣県におよぶ地域医療に貢献しています。

● 災害拠点病院

平成9年に災害拠点病院に指定され、災害発生時における救護班派遣や救援救護の訓練を実施し有事に備えています。また、当院ではDMAT（災害派遣医療チーム）があり、災害時に医療支援を行っています。

診療実績(2024年度)



救急患者さんを24時間体制で診療しています。時間外にも毎日、6～7台の救急車と約40人の救急患者さんを受け入れ、救急科と全科が協力して診療を行っています。また、県内唯一のドクターヘリを持ち、年間400人の患者さんを救急搬送し、救命に努めています。

あつしくら
ひとこと